

Zoomによる
オンライン
開催

シンポジウム

人生の最終段階と 透析療法

—緩和ケアと
ACPの役割

人生の最終段階における透析療法をめぐる諸問題が深刻さを増しています。高齢患者に対する透析療法の医学的・倫理的な問題をはじめ、緩和ケアの確立へ向けた技術的な課題、最終段階を生きる患者の実存的な苦痛への対応、さらに生命維持治療としての透析療法の終了時期に関わる患者の価値観・死生観と医療者の職業的倫理観をめぐる葛藤など、難問が山積しています。

本シンポジウムでは、透析療法を受けているがん患者の事例をもとに、生命予後数か月の時点で患者が維持透析の終了を希望した場合に、何に基づきどのように対応すべきかを検討します。患者から「もう終わりにしたい」と言われたら、どうしますか？ 全人的にケアするとはどのようなことでしょうか？ 本人らしい人生の最終段階を実現するための意思決定支援は？ ACPは？ 緩和ケアのあり方は？ 透析療法のみならず諸々の領域で医療者が直面するこうした難問について具体的に検討し、現場の実践への示唆を得たいと思います。ご一緒に考えてみませんか。

2021年3月14日(日) 午後1時～午後5時

開会の辞 **葛谷雅文** 名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学分野 教授

座長 **三浦久幸** 国立長寿医療研究センター
在宅医療・地域医療連携推進部長

会田薫子 東京大学 上廣死生学・応用倫理講座
特任教授

シンポジスト **進藤喜予** 市立東大阪医療センター
緩和ケア内科部長

石橋由孝 日本赤十字社医療センター
腎臓内科部長

齋藤 凡 東京大学医学部附属病院 看護部
日本腎不全看護学会 理事

清水哲郎 岩手保健医療大学 学長

特別発言 **柏原直樹** 川崎医科大学 副学長
腎臓・高血圧内科学教授
日本腎臓学会 理事長

石垣靖子 北海道医療大学 名誉教授

司会 **早川正祐** 東京大学 上廣死生学・応用倫理講座 特任准教授

ご参加のお申し込みは2021年1月下旬より「上廣死生学・応用倫理講座」のサイトにて受付いたします。(参加無料)

<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/dls/>

予約開始日などに関する詳しい情報は「死生学・応用倫理センター」メールマガジンでご案内いたします。メルマガへのご登録は、「上廣死生学・応用倫理講座」のサイトの画面左下の「メールマガジン登録」からお願いします。



▲上廣講座のサイトは
こちら

共同主催：東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣死生学・応用倫理講座
一般社団法人 日本老年医学会

AMED 柏原班「高齢腎不全患者に対する腎代替療法の開始／見合わせの意思決定プロセスと最適な緩和医療・ケアの構築」

後援：一般社団法人 日本腎臓学会、一般社団法人 日本腎不全看護学会、NPO 法人日本腎臓病協会